

1. プログラム名：泌尿器科専門医取得プログラム

2. 責任指導者：橘 政昭（泌尿器科主任教授）

3. 主な指導者

大堀 理（教授）、中島 淳（教授）、並木一典（准教授）、堀口 裕（准教授）、大野芳正（准教授）、中神義弘（講師）、権藤立男（講師）、下平憲治（助教）、鹿島 剛（助教）、平澤陽介（助教）

4. プログラムの概要

このプログラムは東京医科大学病院において泌尿器科の進歩に即応した泌尿器科臨床の研修を実践し、高度な知識と技術を習得した泌尿器科医の育成を目的としています。日本泌尿器科学会の定める平成 16 年 3 月以降の医学部卒業者については専門医認定までの泌尿器科専門研修期間等についての骨子については次の通りです。

1. 専門医認定に必要な研修期間は、卒後研修 2 年に泌尿器科専門研修 4 年を加えた計 6 年間(卒後満 6 年)とする。なお、専門医試験の受験資格については 泌尿器科専門研修 3 年終了後(卒後満 5 年)とする。
2. 卒後研修終了後、施設長と日本泌尿器科学会専門医制度審議会に「研修開始宣言」を行ない、泌尿器科専門研修を開始する。
3. 泌尿器科専門研修 3 年を終了した卒後 6 年目の 4 月から 5 月に専門医資格試験受験の申請を行うが、このときには日本泌尿器科学会会員であることが必要である。
4. 上記受験申請に続いて 8 月頃専門医資格試験を実施し、その合格をもって専門医認定申請を行い、審査を経て泌尿器科専門研修 4 年(卒後研修を含め通算 6 年)を終了した 4 月 1 日付で専門医に認定される。

従って、本コースではこれら日本泌尿器科学会の求める専門医としての研修要件を完全に履行するプログラムある。また、研究面に関する積極的な参加を奨励しており、本コース終了時において学位取得も視野に入れている。

5. 年次毎の研修内容

基本的には 4 年間の専門医研修を実施する。研修内容は日本泌尿器科学会専門医研修マニュアルに沿って随時研修を行っていくが、特に前期 2 年と後期 2 年に分けて実施する。

A) 前期 1 年目

- ① 本院後期臨床研修プログラムに定められた履修項目については、これを踏襲する。上記履修項目以外については 1 年目の 6 ヶ月はまず、泌尿器科学に関する基礎的知識あるいは手技の修得を病棟業務を中心に行い、その修得を目指す。すなわち、病棟患者管理を通じ、泌尿器科疾患に関する基本知識、泌尿器科画像診断、膀胱鏡操作等の修得とともに、難易度の軽い手術、あるいは手術の助手を務める。後半 6 ヶ月においては、上記に加え、外来業務にも参画し、外来患者の診断、治療等の実際を学ぶ。また、症例報告等学会発表を積極的に行い、知識の充実を計る。

B) 前期 2 年目

- ① 2 年次には 1 年次での履修内容をさらに充実、発展させるとともに、より高度な技術の修得を目指す。そのために、より専門性を高める目的で、本院あるいは関連病院での研修を行うが、状況によっては、一般消化器外科、小児外科、移植外科等への半年程度の出向研修を考慮する。

C) 後期

- ① 前期 2 年の研修を基に、自らの興味に従い、更なる専門性を高める研修を行う。すなわち、自らの興味に合致した専門分野を選択し、一般泌尿器科学とともに、ある 1 疾患については本院の全ての患者を把握し、その診断・治療に参画し、専門性を高める(例えば膀胱癌、副腎腫瘍、鏡視下手術など)。
- ② また、選択した専門分野に関する基礎的研究を開始する。上記 3 年を経過した時点で泌尿器科学会専門医試験を受験する。この試験の受験資格には到達目標として掲げた自ら参画した手術件数が存在するため、この症例数を満足するに足りる手術症例を術者あるいは第一助手として行う。
- ③ 後期 2 年間のうちの 1 年間は研修医班長 (チーフレジデント) と

して、本院の泌尿器科患者のすべてを把握し、自ら診断・治療を実施し手術の中心医師としてつとめる。

なお、上記専門性の観点より、日本泌尿器科学会会員のみならず、その自らの興味から、日本癌学会、癌治療学会、腎臓学会、透析療法学会、外科系内視鏡学会、内分泌学会などの各種学会員となり、専門医取得を目指すことを推奨する。また関連病院での研修、海外留学については状況に応じて相談していくこととする。

6. 週間予定表

	月	火	水	木	金	土
8:00-	回診	回診	回診	回診	教授回診	回診
9:00-	病棟業務および各種検査	手術	手術	手術	病棟業務・各種検査	病棟業務・体外衝撃波結石破砕術
13:00-	結石破砕・前立腺生検	手術	手術・前立腺生検	手術	結石破砕・前立腺生検	
17:00-	術前カンファレンス・回診	回診	回診・スタッフによるレクチャー	回診・抄読会	回診・スタッフによるレクチャー	

7. 取得できる資格

日本泌尿器科学会専門医

上記取得後、日本腎臓学会専門医、日本透析学会専門医、泌尿器内視鏡外科学会認定、ロボット外科学会認定医などを取得可能である。

8. プログラム修了の評価・認定方法

日本泌尿器科学会専門医を取得することによってプログラム修了となる。

9. 処遇・待遇

- A) 初期の3年間は後期研修医として月額20万円が支給される。当直を行った場合には1回につき9800円が支給される。また緊急入院、緊急処置などに応じて規定に従って手当が支給される。
- B) 週1日の院外勤務が可能である。
- C) 健康保険、厚生年金、労災保険に加入する。
- D) 4年目以降の処遇に関しては、病院の規定に従う。

10. その他

礎研究・臨床研究を平行して行い、研修終了時に学位を取得することも可能である。